

# 第 36 回

日本医師会医療秘書認定試験結果

分析評価報告書

(実施 平成28年2月7日)

日本医師会医療秘書認定試験委員会

# 日本医師会医療秘書認定試験委員会委員

◎富田 雄二 宮崎県医師会副会長

板橋 隆三 宮城県医師会常任理事

大西 淳夫 前滋賀県医師会理事

加藤 雅通 愛知県医師会理事

平賀 聖悟 静岡県医師会理事

◎委員長

## 分析・評価

I. 緒 論	.....	2
II. 科目別正解率	.....	2
III. 各回の比較	.....	3
IV. 総 括	.....	3

## 付表

表1・2 科目別正解率	.....	5
表3 各回の比較	.....	7

# 第36回 日本医師会医療秘書認定試験結果

## 分析・評価

第36回日本医師会医療秘書認定試験は、11県医師会(13校)、351名(旧要綱対応23名、新要綱対応328名)の受験生が参加して、平成28年2月7日に各県医師会において実施され、以下の成績を得たので報告する。

### I. 緒論

- 1) 第36回認定試験は、平成26年4月の要綱改定に伴い、旧要綱対応と新要綱対応の2種類の試験問題により実施した。受験者数は、11県医師会、351名(旧要綱対応23名、新要綱対応328名)であった。
- 2) 旧要綱対応受験者数23名中、合格者は23名、合格率は100%であった。また、新要綱対応受験者数328名中、合格者は298名、合格率は90.9%であった。
- 3) 個人別取得点(100点満点)の最高は旧要綱対応97点、新要綱対応90点、最低は旧要綱対応67点、新要綱対応39点であった。
- 4) 平均点は旧要綱対応83.1点、新要綱対応64.7点であった。

### II. 科目別正解率

#### 1) 旧要綱対応問題

科目別正解率は表1の通りとなり、正解率の高かったものは、秘書学概論(94.9%)、秘書実務(94.2%)、患者論(89.9%)等であり、低かったものは、人間関係論(75.4%)、心身医学(75.7%)であった。

また、医学基礎教科と秘書専門教科に区分して比較すると、今回、医学基礎教科(50点満点)は82.2%、秘書専門教科(50点満点)は84.1%であった。

## 2) 新要綱対応問題

科目別正解率は表2の通りとなり、正解率の高かったものは、医療秘書概論(83.1%)、コミュニケーション論(80.9%)、医の倫理(78.5%)等であり、低かったものは、医療保険事務(45.8%)、医療にかかわる用語(53.5%)等であった。

また、医療・保健・福祉基礎教科と医療秘書専門教科に区分すると、医療・保健・福祉基礎教科(58点満点)は65.5%、医療秘書専門教科(42点満点)は63.6%であった。

## Ⅲ. 各回の比較

平均点、標準偏差および変動係数を過去の試験結果と比較すると表3の通りであった。

## Ⅳ. 総括

- 1) 出題問題については、受験者及び各県医師会からの疑義はなく、適切な問題であった。
- 2) 問題の適否については、正解率と識別指数を勘案し、慎重に審議した。
- 3) 合否については、慎重に審議して決定した。合格率は旧要綱対応は100%、新要綱は90.9%と、ともに高い合格率であった。
- 4) 各県医師会の合格率については、旧要綱対応で静岡県が100%、新要綱対応では、埼玉県、福井県、滋賀県、岡山県が100%、90%台が宮城県、山梨県、愛知県であった。
- 5) 旧要綱対応では、全体的に正解率が高く、昨年度正解率が低かった「医療用語」、「秘書学概論」、「秘書実務」についても上昇した。  
新要綱対応では、昨年度正解率が低かった「医の倫理」、「薬の知識」については上昇したが、一方で「医療にかかわる用語」、「医療保険事務」は著しく低下していた。
- 6) 今後、電子カルテ及びORCA(日医標準レセプトソフト)の普及に伴

い、それに対応できる医療秘書を養成していくことが必要である。

7) 医療秘書は、医療現場においてチーム医療の一員としての役割が求められており、教科書改訂においてもその要素が加味された。今回の試験において、医の倫理、コミュニケーション論、医療秘書概論、医療秘書実務などの科目において成績が良好であったことは評価に値するものである。一方で、医療にかかわる用語や医療保険事務の正解率は低かったが、これらの知識は現場において即座に必要とされる分野であり、今後も勉学の継続が求められる。

8) 各学院において有能な医療秘書が養成されている状況が見られる。医療現場では医療秘書の必要性が増しており、平成28年度の診療報酬改定において「医師事務作業補助体制加算」が引き上げられ、対象病棟が拡大されたことは喜ばしいが、点数は未だ十分ではなく、また今後は診療所を含めた対象施設の拡大が強く望まれる。

「日本医師会医療秘書認定試験」の認知度を高めるために、診療報酬算定要件に本認定試験を位置づけるなどの方策も引き続き求めたい。

表 1 科目別正解率（旧要綱対応）

(%)

科目	正解率	前回正解率
健康と疾病	79.3	72.5
患者論	89.9	85.4
解剖生理	79.7	77.4
発育と老化	84.8	79.4
感染と免疫	79.1	75.9
心身医学	75.7	77.2
薬の知識	83.3	78.9
医療用語	84.2	68.6
<b>医学基礎教科合計</b>	<b>82.2</b>	<b>76.4</b>
秘書学概論	94.9	74.6
秘書実務	94.2	75.5
医療情報学	86.2	81.3
医療関係法規	77.5	81.5
医療保険事務	78.3	74.2
人間関係論	75.4	79.7
医療倫理	83.7	82.7
<b>秘書専門教科合計</b>	<b>84.1</b>	<b>78.3</b>

表2 科目別正解率（新要綱対応）

(%)

科目	正解率	前回正解率
健康とは、疾病とは	73.2	78.4
患者論（患者論と医の倫理）	68.2	66.9
医の倫理（患者論と医の倫理）	78.5	56.9
からだの構造と機能	58.1	59.7
臨床検査（臨床検査と薬の知識）	60.1	68.6
薬の知識（臨床検査と薬の知識）	68.2	36.9
医療にかかわる用語	53.5	71.7
コミュニケーション論	80.9	83.8
<b>医療・保健・福祉基礎教科合計</b>	<b>65.5</b>	<b>65.9</b>
医療秘書概論	83.1	85.5
医療秘書実務	75.6	78.3
医療情報処理学	58.2	66.0
医療関係法規概論	64.5	71.3
医療保険事務	45.8	74.4
<b>医療秘書専門教科合計</b>	<b>63.6</b>	<b>75.2</b>

表3 各回の比較

	医学基礎教科			秘書専門教科			合計			合格率 (%)
	平均点	±標準偏差	変動係数 (%)	平均点	±標準偏差	変動係数 (%)	平均点	±標準偏差	変動係数 (%)	
第1回	35.9	±5.4	15.0	40.0	±4.2	10.5	75.9	±8.6	11.4	97.3
第3回	33.2	±6.0	18.2	34.3	±4.6	13.5	67.5	±9.8	14.5	80.1
第5回	32.6	±6.8	20.9	35.8	±5.5	15.4	68.4	±11.4	16.6	81.3
第6回	31.5	±7.6	24.0	38.6	±5.6	14.5	70.1	±12.3	17.6	80.8
第7回	33.2	±7.4	22.4	32.5	±6.5	20.0	65.7	±13.0	19.8	73.6
第8回	32.8	±6.7	20.6	36.1	±5.3	14.7	68.9	±10.7	15.6	86.1
第9回	31.7	±7.1	22.4	32.9	±6.6	20.0	64.5	±12.8	19.8	81.3
第10回	29.5	±8.0	27.0	33.4	±6.6	19.7	62.9	±13.7	21.7	80.0
第11回	30.5	±7.8	25.5	33.0	±6.4	19.5	63.5	±13.5	21.3	82.3
第12回	32.2	±7.3	22.7	33.3	±7.0	21.0	65.4	±13.6	20.8	82.5
第13回	31.5	±6.9	22.0	32.5	±6.8	21.0	64.0	±13.0	20.4	80.3
第14回	30.9	±6.4	20.7	32.1	±6.2	19.3	63.0	±11.7	18.6	84.3
第15回	30.7	±6.4	21.0	33.3	±6.7	20.1	64.0	±12.3	19.2	83.4
第16回	28.9	±6.5	22.5	29.8	±5.4	18.1	58.7	±11.1	18.9	78.2
第17回	30.4	±6.5	21.4	31.5	±6.0	19.0	61.9	±11.5	18.6	79.7
第18回	33.6	±6.6	19.6	34.8	±5.4	15.5	68.4	±11.0	16.1	85.1
第19回	32.9	±6.7	20.4	33.6	±5.4	16.1	66.5	±11.2	16.8	85.9
第20回	34.3	±6.2	18.2	33.3	±5.6	16.9	67.5	±11.0	16.3	87.6
第21回	36.1	±5.6	15.4	36.0	±5.0	13.9	72.1	±9.6	13.3	93.9
第22回	32.1	±6.5	20.2	32.5	±5.7	17.7	64.6	±11.3	17.5	79.2
第23回	34.2	±6.6	19.2	32.8	±5.9	17.8	67.0	±11.6	17.3	88.2
第24回	35.1	±5.0	14.2	35.6	±5.0	14.1	70.7	±9.2	13.1	94.2
第25回	32.1	±6.2	19.3	33.5	±4.7	13.9	65.6	±10.0	15.2	89.4
第26回	35.3	±5.9	16.6	34.5	±4.6	13.3	69.8	±9.5	13.6	92.0
第27回	34.5	±5.8	16.9	33.7	±4.7	14.0	68.3	±9.6	14.0	91.5
第28回	34.9	±5.3	15.2	34.5	±5.0	14.5	69.5	±9.4	13.5	94.0
第29回	37.0	±5.1	13.7	34.6	±5.2	15.1	71.6	±9.4	13.1	90.6
第30回	36.3	±6.3	17.3	32.8	±5.1	15.7	69.1	±10.5	15.1	89.9
第31回	37.2	±4.9	13.1	35.5	±4.8	13.4	72.7	±8.8	12.1	96.5
第32回	37.1	±5.3	14.2	34.2	±5.0	14.5	71.3	±9.4	13.1	94.1
第33回	33.4	±5.3	15.9	37.0	±4.7	12.8	70.4	±9.3	13.2	94.4
第34回	32.3	±4.6	14.3	37.7	±4.7	12.5	70.0	±8.2	11.8	94.4
第35回旧	38.2	±5.5	14.4	39.2	±5.2	13.3	77.4	±9.8	12.7	97.2
第36回旧	41.1	±4.5	10.9	42.0	±3.8	9.1	83.1	±7.4	8.9	100.0
	医療・保健・福祉基礎教科			医療秘書専門教科			合計			合格率(%)
第35回新	38.3	±6.0	15.8	31.6	±4.9	15.4	69.8	±10.2	14.7	93.3
第36回新	38.0	±6.0	15.7	26.7	±4.2	15.9	64.7	±9.4	14.5	90.9

※第2回・第4回は、年2回実施していたため受験者が少なく比較から除く